

都市再生整備計画 事後評価シート

丸亀市中心市街地地区

平成24年11月

香川県丸亀市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	香川県		市町村名	丸亀市		地区名	丸亀市中心市街地地区			面積	390ha		
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	2,388.2百万円	国費率	0.42				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	・道路(街路):中津土器線、道路:東汐入川周辺市道、・地域生活基盤施設:緑地 ・高次都市施設:地域コミュニティセンター									
			提案事業	なし									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし									
			提案事業	なし									
新たに追加した事業		基幹事業	・地域生活基盤施設:広場、情報板、・高質空間形成施設:西平山通町線他9線										
		提案事業	・用地取得、既存施設取壊しおよび城乾コミュニティセンター建設事業(図書室) ・まち歩き魅力向上活動 ・まち歩きボランティアガイドの育成										
交付期間の変更		当初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	中津土器線の通過時間	分	6	H19	5	H24	-	5	○	あり	暫定整備ではあるが、高架構造から平面構造に変わり、道路線形が良くなった。また、交差点においても右折車線等の整備がなされたこと等によって、走行性が良くなり、走行時間の短縮に寄与したと考えられる。	
	指標2	公園・緑地に対する満足度	%	56	H17	60	H24	-	79	○	あり	ワークショップ等を通じて、緑地整備に対する理解が深まり、また、緑地の整備計画がレクリエーション機能や防災機能を有した内容となっていることが満足度に繋がったと考えられる。	平成25年6月
	指標3	地域コミュニティセンター年間利用者数	人	8,486	H18	12,000	H24	-	11,013	△	あり	○	平成21年度の完成後、施設の機能向上により利用者は年々増加しているが、目標値の達成には至らなかった。
指標4	こんびら湊一丸亀街道に対する満足度	%	31	H22	36	H24	-	48	○	あり	なし	整備した地区において、住民の満足度が向上した。また、今回のアンケート調査もこんびら街道の整備に対する情報発信となったと考えられ、住民がこんびら街道に対して再認識する契機となった。	平成25年6月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1					-							
その他の数値指標2					-								
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	・実施せず		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	・①東汐入川埋立地への緑地整備あたっては、ワークショップを開催し、計画案について議論した。 ・②こんびら街道については、地域住民によるまち歩きを行い、整備計画について協議した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●① ●② ①地域住民と管理形態についても今後も協議を図る。 ②今後、整備予定であるポケットパークの維持管理や散策者に対するおもてなし等の対応について協議を図る。					
	持続的なまちづくり体制の構築	・こんびら街道及び周辺の歴史施設を対象としたこんびら街道ウォーキングイベントやぼんぼりの灯を用いた金毘羅街道ぼんぼりウォーク等のイベントを毎年開催している。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後もイベントの継続を図り、周辺歴史施設やご当地グルメなどと併せて新たな集客への取り組みを推進していく。					

様式2-2 地区の概要

丸亀市中心市街地地区(香川県丸亀市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:市街地中心部の居住環境、生活利便性の向上と連動した市街地周辺部の居住環境、防災環境の向上により、地域の個性ある「住みやすいまちづくり」を実現する。 目標1:市街地中心部と周辺部の交通流を円滑化することにより、利便性の向上、災害時の対応力を強化する。 目標2:東汐入川の埋立、緑地整備により、防災環境を向上させるとともに、良好なアメニティ空間を創出、居住環境を向上する。また、併せて市道整備により、生活利便性、住環境の向上を図る。 目標3:緑地整備およびコミュニティセンターを通じて地域コミュニティの強化を図りながら、まちづくりに対する参画意識などの拡大を図る。 目標4:歴史資源を活用したネットワーク化の構築や歩行者空間の整備により、地域住民等が散策できる回遊性の向上を図る。	中津土器線の通過時間	単位:分	6	H19	5	H24	5	H24
	公園・緑地に対する満足度	単位:%	56	H17	60	H24	79	H24
	地域コミュニティセンター年間利用者数	単位:人	8,486	H18	12,000	H24	11,013	H23
	こんぴら湊-丸亀街道に対する満足度	単位:%	31	H22	36	H24	48	H24



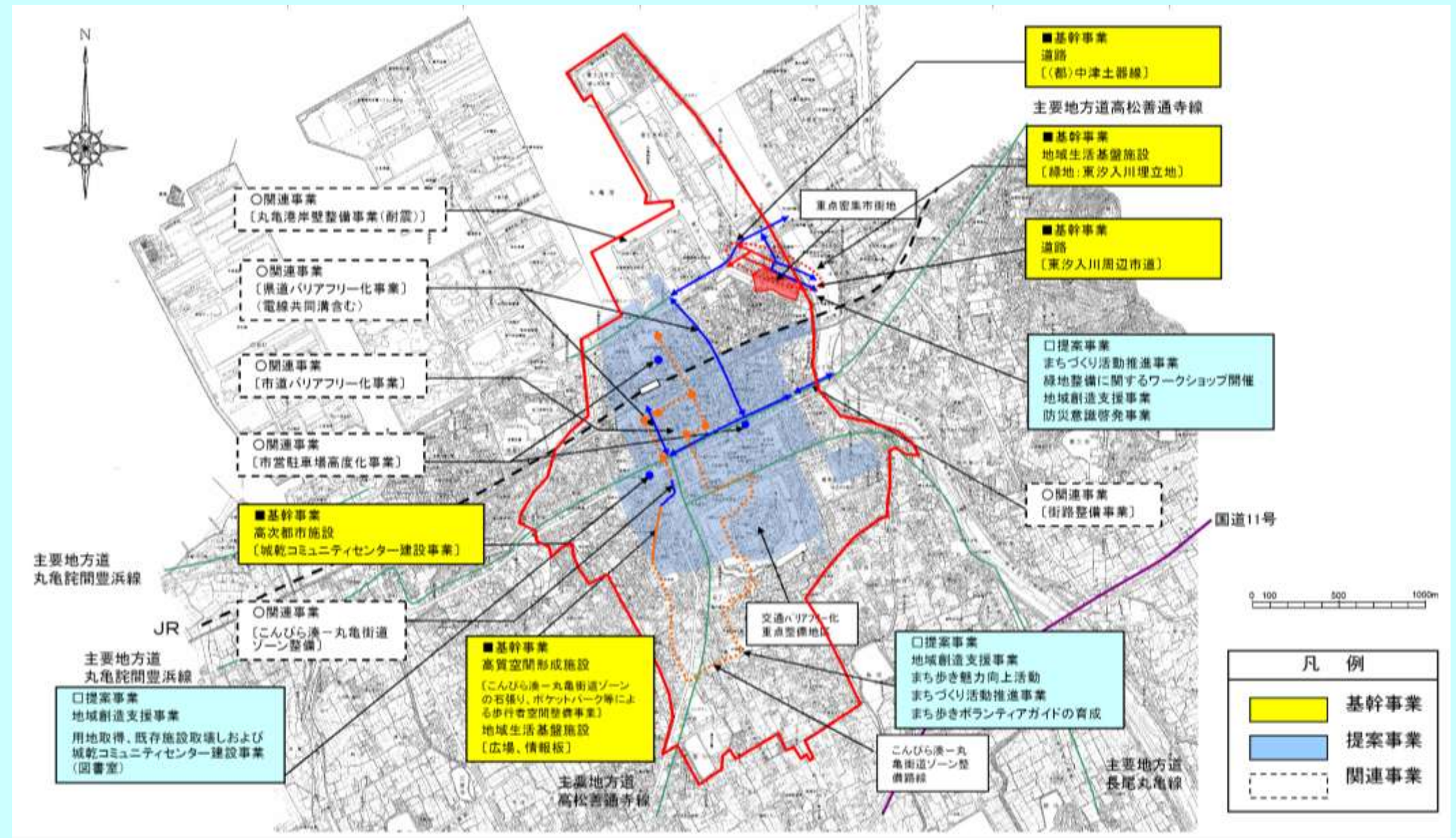
街路整備区間



【高質空間形成施設】
石張り舗装



【高次都市施設】
地域コミュニティセンター



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 中津土器線の暫定整備により、中心市街地内縁辺部における通過時間は向上した。 今後は、中津土器線の完成に向けての整備や連絡する市道の整備、緑地の整備が望まれる。 中心部では、こんぴら街道の整備による来訪者、地域住民等による歩行者の増加が期待されている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> こんぴら街道を利用した散策ルートと商店街などの商業施設との連携が必要である(お土産販売、休憩場の提供など)。 散策ルートにおける休憩機能や情報発信機能の強化を検討していく。